

自民新総裁に高市氏 派閥 裏金議員 安倍政治継承 改憲大軍拡 「スパイ防止法」 古い自民党、タ力派鮮明に

自民党総裁選で4日、新総裁に高市早苗前経済安全保障担当相が選出されました。

総裁選で支援してもらった麻生派を党人事で露骨に厚遇、裏金問題の萩生田光一氏を幹事長代行に起用しました。安倍政治の継承、大軍拡、国民監視の「スパイ防止法」を主張、さらに排外主義席な姿勢も。

反動ブロックに立ち向かう新しい共同の発展を

日本共産党の田村智子委員長は4日、記者会見で次のように表明しました。

「1カ月前の第6回中央委員会総会で、反動ブロックの危険に立ち向かう新しい国民的・民主的共同を呼

「しんぶん赤旗」日曜版電子版登録4800人(6日午後)

お申し込みはQRコード(左)を読み込んでください。



●三重・志摩市議選(定数16、2減、立候補17人)が5日に告示され(12日投票)、日本共産党の現職、森光子候補(67)が議席確保をめざしています。

●市長不信任、議会解散に伴う静岡・伊東市議選が12日に告示(19日投票、定数20)、重岡ひで子市議(75)が立候補します。

日本共産党は現市長の不信任決議案に賛成、同時に5月の市長選で示された「市政を変えたい」との民意を尊重する立場で、地方選からの2年間の主な3つの実績(①70歳以上のタクシードライバー補助、②子ども食堂への補助の増額③給食無償化の継続に道開く)と4つの重点政策(①エアコン購入費を65歳以上の非課税世帯に7万円まで助成、②小・中学生の通学交通費の負担軽減③センター給食を夏休みの学童

び掛けたが、その共同を広げ発展させていくことがいよいよ求められ、大切になっていると受け止めている」

「自民党が危機的状況に陥りながらも、補完勢力を取り込み、社会保障改悪、大軍拡への暴走、憲法と民主主義の蹂躪(じゅうりん)、ジェンダー平等への逆流など、日本の政治に深刻な逆行をもたらす危険がある」

「こうした危険な逆行を許さず、暮らし、平和、人権の各分野で、新しい政治へ日本が向かうよう、日本共産党はがんばっていききたい」と抱負

早期に再審法改正を 議連総会に参加 もとむら議員

「えん罪被害者のための再審法改正を早期に実現する議員連盟」の総会が8日開かれ、日本共産党のもとむら伸子衆院議員が参加しました。



法制審議会刑事法(再審関係)部会の審議状況について法務省からの説明を受け、法制審部会委員の鴨志田祐美弁護士、村山浩昭弁護士から法制審部会の問題点の指摘がありました。

保育所等の希望児童に提供④高齢難聴者の補聴器購入助成の実施)を訴えています。

●愛知・大口町長選(14日告示、19日投票)吉田正氏(63)「無所属」日本共産党推薦 元党町議

●川根本町議選 党議席失う
静岡・川根本町議選(定数10)が5日投票され日本共産党の大竹勝子氏(72)は167票を獲得しましたが及ばず議席を失いました。同町の党の参院比例票は170票、昨年衆院比例票は135票でした。

を語りました。

自民党政治を終わらせる以外に打開の道はない

「高市氏は総裁選で、国民が求めている消費税減税には答えず、裏金議員の復権、アベノミクス継承、大軍拡、日米同盟強化を唱えた」

「(高市氏に)何ら期待することはしない。まさに自民党政治を終わらせていく以外に行き詰まった状況を打開することはできないことが改めて示されている」

「高市氏自身がジェンダー平等や、女性の人権の前進について最も強い妨害者の一人だ」と述べました。

もとむら氏は、「今のままの法制審部会では、えん罪被害者のための再審法改正にならない危険性があります。継続審議になっている議連案こそ成立させるべきです。えん罪被害者への適正かつ迅速な被害回復・人権回復ができるよう、議連の議員と力を合わせていきます」と述べています。

◆
これに先立ち7日、日本弁護士連合会による「国会主導での再審法改正の実現を求める院内会議」が開かれ、もとむら議員も参加しました。

もとむら伸子(本村伸子)X(旧ツイッター)から
(静岡県菊川市で)竜巻・突風で倒れかかった大きな木。家が潰れる危険性がある問題で、一緒に内閣府防災、環境省からの聞き取りを行った奥野としお菊川市議、田島ちかお元菊川市議が、菊川市に環境省の制度が使えることを伝えてくださる中で、菊川市が動いてくれるとのうれしいご報告をいただきました！まずはよかったです。